

【令和2年12月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このため令和2年12月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和2年12月31日
- (2) 調査対象 県下35商工会（うち34商工会より回答）【回収率97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の10業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【新型コロナウイルス第3波の影響により特に旅館業・衣料品小売業が大きな打撃を受け、著しく業況が悪化した】

産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）は-37.3（前月-36.3、前年同月-13.5）で、前月比1.0pt悪化した。新型コロナウイルス第3波の影響でGoToトラベル一時停止により旅館業及び外出自粛による衣料品小売業の業況悪化が目立つ状況であった。

【製造業】

業況は-30.4（前月-32.4、前年同月-19.6）と前月に比べ2.0pt好転した。繊維業（マスク受注）は好調であるが、機械関係・金属加工業にて発注者の設備投資予算が減額されており、受注の減少に繋がっている。

【建設業】

業況は-32.4（前月-32.3、前年同月2.9）と前月に比べ0.1pt悪化した。現在、部材の供給は安定しているが、先月同様、個人の新築需要は鈍い状況であり、外構・エクステリア関係の受注が減少している。

【小売業】

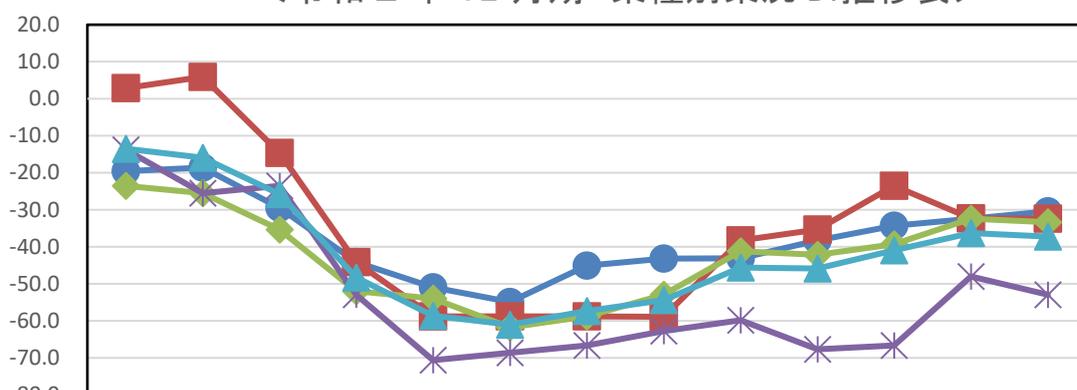
業況は-33.3（前月-32.4、前年同月-23.5）と前月に比べ0.9pt悪化した。新型コロナウイルスによる外出自粛により売上が大きく減少している。また、食料品はステイホームにより、家での内食が増えたことで売上が改善された。

【サービス業】

業況は-53.0（前月-48.0、前年同月-13.8）と前月に比べ5.0pt悪化した。GoToトラベル一時停止及びGoToEat食事券の利用自粛により宿泊・飲食共に大打撃を受け、業況を大幅に悪化させた。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：戸塚〕

＜令和2年12月期 業種別業況DI推移表＞



	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12
DI値(製造業)	-19.6	-18.6	-29.5	-44.1	-51.0	-54.9	-45.1	-43.2	-43.1	-38.3	-34.3	-32.4	-30.4
DI値(建設業)	2.9	5.9	-14.6	-44.1	-58.8	-58.8	-58.8	-58.9	-38.3	-35.3	-23.5	-32.3	-32.4
DI値(小売業)	-23.5	-25.5	-35.3	-52.0	-54.0	-61.8	-58.8	-52.9	-41.2	-42.2	-39.3	-32.4	-33.3
DI値(サービス業)	-13.8	-25.5	-23.5	-52.9	-70.6	-68.6	-66.7	-62.8	-59.8	-67.7	-66.7	-48.0	-53.0
DI値(全業種平均)	-13.5	-15.9	-25.7	-48.3	-58.6	-61.0	-57.3	-54.4	-45.6	-45.9	-40.9	-36.3	-37.3

＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・食料品は新型コロナウイルス第3波の影響で外食をしなくなり、自宅で食事をする機会が増え、予想以上の減少にはなっていないが厳しい状況である。(伊豆)
- ・機械関係は、受注、引き合いとも少ない。(富士駿東)
- ・金属加工業にて発注者の設備投資予算が減額され、受注内容が大幅に減少した事業所が複数ある。(中部)
- ・食料品において新型コロナウイルス感染症拡大の中、受注は好転の兆しが見える。(中東遠)
- ・繊維業(マスク受注)は好調である。(西遠)

【建設業】

- ・以前は部材の供給に不安があったが現在は安定している。(伊豆)
- ・公共工事受注が多い総合工事業者が、今後の新型コロナウイルスの影響による地方自治体財政悪化が公共事業減、そして受注減につながる不安感を持っている。(富士駿東)
- ・受注量は減少している。また、作業員の高齢化と人材不足が大きな問題。(中部)
- ・外構、エクステリア系が受注減少している。また、個人の新築に対する需要は前月同様まだ鈍い。(中東遠)
- ・関東圏の受注はあるがコロナ禍により受入れを制限している。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・食料品関連において市で発行された商品券の影響で一人当たりの単価が増加。(伊豆)
- ・プレミアム商品券の効果が出ているが当月がピークと思われる。(富士駿東)
- ・衣料品は新型コロナウイルスにより消費動向が減退しており、食料品は年末のステイホームに備え、家での飲食向け商品が動いている。(中部)
- ・秋の祭典がなかったことや外出自粛により、衣料品売上は減少。(中東遠)
- ・食料品小売業にて外食機会の減少により、店頭での売り上げは増えている店が多い。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・GoTo トラベルの一時停止により年末の予約のキャンセルが多く、すでに仕入れをしてしまい困惑している。(伊豆)
- ・GoTo キャンペーンの利用で宿泊・飲食共に回復傾向にあったが、GoToEat は利用自粛、GoTo トラベルも一時停止と一気に陰りが見られた。(富士駿東)
- ・GoTo トラベルの一時停止により宿泊業は大打撃を受けている。(中部)
- ・理・美容にて年末年始を迎える中、前月に比し利用者は増えたが回復には至っていない。(中東遠)
- ・民宿業において忘年会は全くなく、2 から 3 人の少人数の食事が多い。(西遠)

小規模企業景気動向調査(令和2年12月末)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-29.4	-29.5	好転
売上	-35.3	-29.4	減少
仕入単価	-2.9	2.9	低下
採算	-47.1	-38.2	悪化
資金繰り	-41.2	-41.1	悪化

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-20.6	-26.5	好転
売上	-17.7	-17.6	減少
仕入単価	8.9	11.8	低下
採算	-14.8	-17.7	好転
資金繰り	-14.8	-17.7	好転

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-41.2	-41.2	不変
売上	-44.1	-35.3	減少
仕入単価	0	8.8	低下
採算	-41.2	-26.5	悪化
資金繰り	-35.3	-29.5	悪化

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-32.4	-32.3	悪化
売上	-23.6	-23.5	減少
仕入単価	0	2.9	低下
採算	-20.6	-35.3	好転
資金繰り	-35.3	-35.3	不変

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-53	-47.1	悪化
売上	-47	-35.2	減少
仕入単価	-3	-2.9	低下
採算	-44.1	-38.2	悪化
資金繰り	-49.9	-47	悪化

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-14.7	-14.7	不変
売上	3	-2.9	増加
仕入単価	-5.8	-5.9	上昇
採算	-20.6	-26.5	好転
資金繰り	-29.4	-29.4	不変

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-32.3	-35.3	好転
売上	-32.3	-23.5	減少
仕入単価	3	3	不変
採算	-29.4	-29.4	不変
資金繰り	-32.3	-35.3	好転

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-58.8	-38.2	悪化
売上	-50	-29.4	減少
仕入単価	5.9	14.7	低下
採算	-55.9	-32.3	悪化
資金繰り	-58.9	-47.1	悪化

9.洗濯業

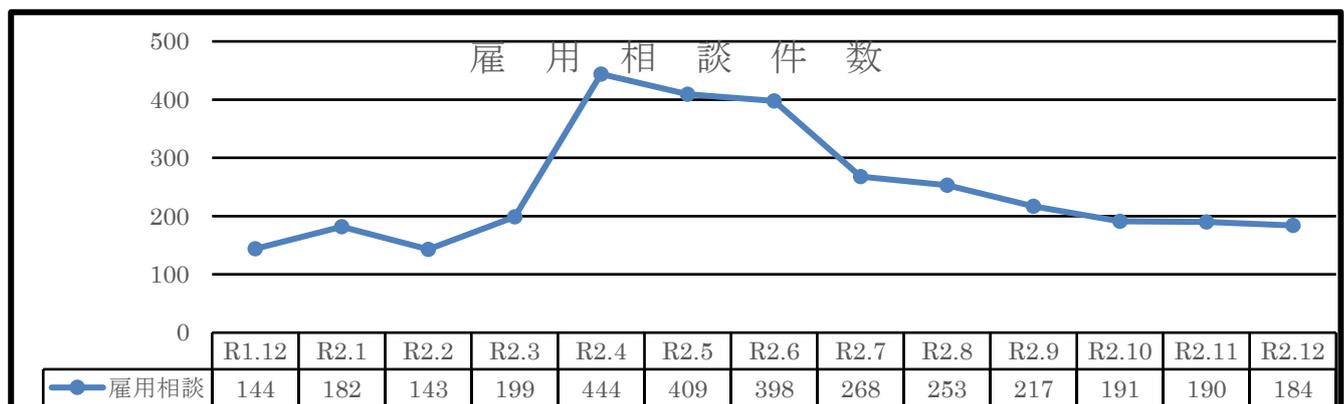
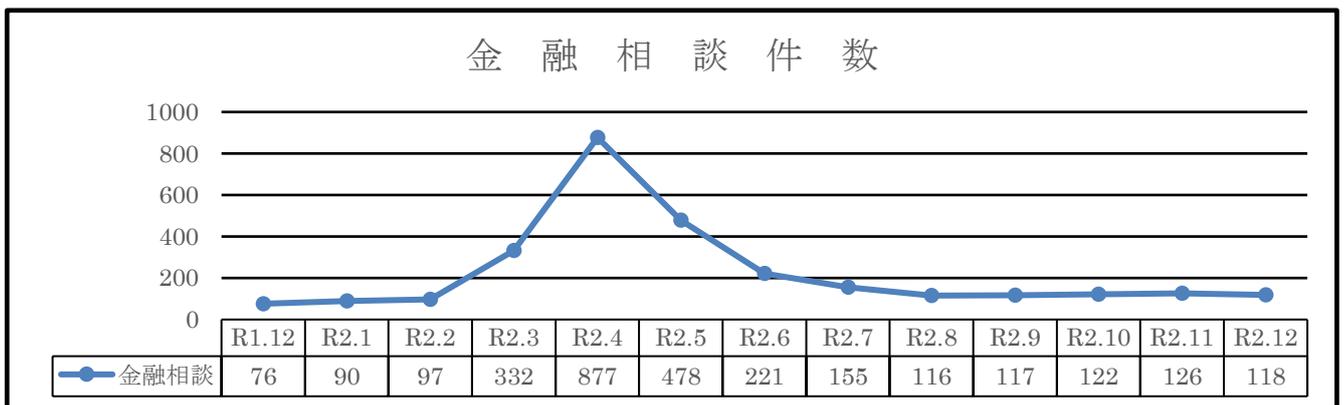
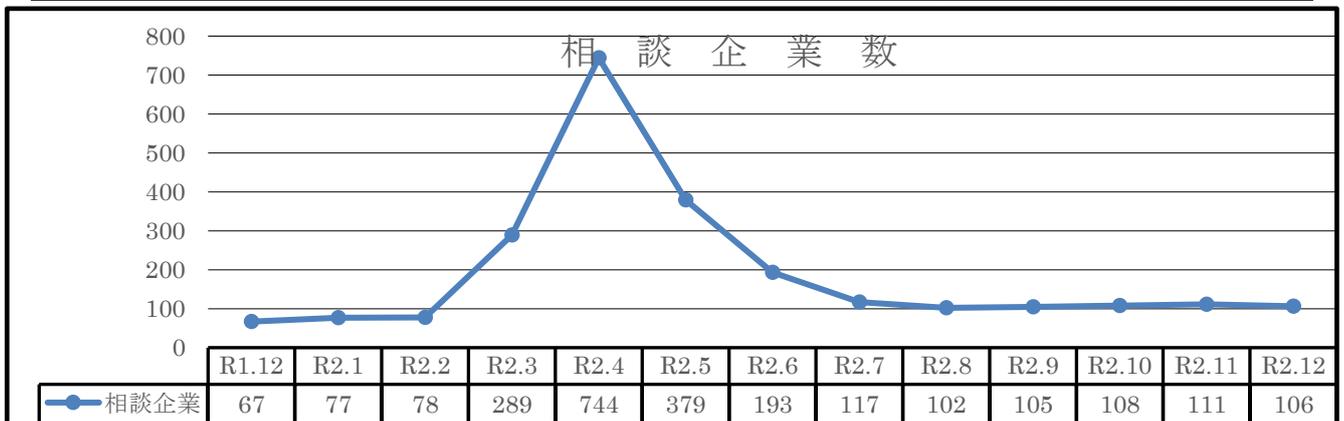
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-53	-52.9	悪化
売上	-47.1	-58.8	増加
仕入単価	5.9	0	上昇
採算	-41.2	-44.2	好転
資金繰り	-41.2	-52.9	好転

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-47.1	-52.9	好転
売上	-47.1	-53	増加
仕入単価	5.9	5.9	不変
採算	-32.4	-35.3	好転
資金繰り	-41.2	-41.2	不変

金融・雇用相談実績月次報告(令和2年12月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	106	111	-5
【金融相談件数】	118	126	-8
新規融資（借換えを除く）	61	73	-12
既存債務の借換え	44	44	0
借入れ条件変更	3	3	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	10	6	4
【雇用相談件数】	184	190	-6



【金融相談】

金融相談件数は、118件と前月(126件)に比べ8件減少した。相談件数は7月以降、横這いに推移しているが、新型コロナウイルス感染症の長期化により、追加融資相談など事業者の厳しい資金繰りの状況が伺える。

<経営指導員コメント>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しており、ここにきてさらに拡大している事を受け、追加融資を希望する相談が増えている。(伊豆)
- ・公庫融資と民間金融機関の協調融資の可能性など、新型コロナウイルスの影響による資金繰りの厳しさを受けた相談が増加している。(富士駿東)
- ・マル経融資と無利息型の融資に関する相談がきている。(中部)
- ・年末に向けた資金調達の個別相談会を開催し、予約満席となった。(中東遠)
- ・公庫や保証協会への創業に関する相談は減少しているが、創業支援機関などへの相談は増えている。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、184件と前月(190件)に比べ6件減少した。雇用保険の資格取得や資格喪失に関する相談が多くなっている。また、新型コロナウイルスの影響により有効求人倍率が低いこともあり、再就職先が決まらない方が多くみられる状況である。

<経営指導員コメント>

- ・主だった動きは見受けられない。(伊豆)
- ・新型コロナウイルス感染症拡大を受けた雇用調整助成金の相談や問い合わせが一定程度ある状況が続いている。(富士駿東)
- ・雇用に関する相談は、雇用保険の離職・取得が主となっている。(中部)
- ・雇用保険資格喪失手続きで、再就職先が決まっていないう方が多く、離職票作成を必要とする方が増加している。(中東遠)
- ・新型コロナウイルスの影響で事業所によっては雇用調整申請に加え、教育訓練の助成金を申請するところもでてきた。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・12/13(日)に河津寄って軽トラ市を開催。今年度初開催であり、コロナ禍における開催の為、感染症対策をとった開催となった。来場者数は例年同時期としては少ないものの、1,000人弱の来場があった。(河津町)
- ・新たな販路開拓としてオンラインワークショップモニター体験会を実施。12/7 民宿経営夫婦による「干物づくり&包丁研ぎ」体験を開催。参加者に生魚等を郵送し、ZOOM生中継で干物づくりを体験した。(南伊豆町)
- ・青年部が毎年開催しているイベント「宅配サンタ」はコロナの影響で中止した。(函南町)
- ・市内で新型コロナウイルス感染症が拡大し、市内飲食業者に対し12月23日～1月5日に夜間営業時間短縮要請が県から出され、酒類を出す店の多くが協力したものの、売上減少が深刻。(富士市)
- ・店ごとに抽選箱を用意し行う、年末大売り出しのイベントは例年通り開催。(掛川みなみ)
- ・12月24日(木)令和2年産遠州森町次郎柿ワイン完成祝賀式を小國神社にて実施。(森町)
- ・市の中小企業等経営力強化支援事業補助金(補助率2/3、上限50万円)及び市のコロナ感染防止対策補助金(補助率1/2、20万円)を活用する事業者の支援を行った。(浅羽町)
- ・コロナ禍により地域のイベントは無くなり催事業者は厳しい状況だが、百貨店での催事は企画されており、百貨店の高い基準に対応できる催事業者は売上を確保できている。(浜名)
- ・12月1日～24日の24日間、新居町商業協同組合・湖西市商工会・湖西市商業協同組合と合同で、歳末謝恩セールを行った。(新居町)